

I 教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、心身ともに健康で、豊かな人間性を身に付けた幼児の育成を目指して、次の教育目標を設定する。

○げんきな子 ○やさしい子 ○かんがえる子
遊ぶの大好き！ 三大の子

II 経営方針

目指す幼稚園像	○【えがお】こどもの体が動き、心が動き、笑顔があふれる幼稚園 ○【やりがい】職員が専門性の向上を常に目指し、やりがいを感じる幼稚園 ○【ともに】保護者、地域に愛され信頼される幼稚園
目指す幼児像	○基本的な生活習慣や態度を身に付け、自分のことは自分でしようとする幼児 ○心と体を十分に働かせ、夢中になって遊ぶ幼児 ○試したり工夫したりして、最後まで諦めずに取り組もうとする幼児 ○様々な人と関わり、自分も友達も大切にする幼児
目指す教師像	○こども一人一人を心から大切にする教師 ○常に専門性の向上を目指し学び続ける教師 ○保護者、地域、同僚とのつながりを深める教師
経営理念	本園の使命は、第三大島幼稚園に通うこどもたちの心と体を豊かに育み、こどもたちが、未来社会を生き抜く力を培えるようにすることである。さらに、第三大島幼稚園で出会う全ての人々が、共に過ごし、育ち合うことに喜びと充実感を感じられるようにすることである。そして、「みんな、かがやく！」幼稚園となり、「第三大島幼稚園に通ってよかった」と誰もが思える生活を積み重ねられるようにする。 そのために、次の2点を特に重視する。 1 深い幼児理解に基づいた、園内の教育環境の充実 2 保護者・地域とのつながりを深め、こどもも大人も共に伸びる喜びと充実感を感じられる教育活動の推進 教育活動で目指すものは、こどもたちがこの先の未来を生き抜く力の基盤を培えるようにすることである。そのために私たち教職員は、こどもへの愛情を軸に『江東区こどもの権利に関する条例』の内容を理解しながら、こどもを取り巻く人々、幼稚園や地域などの環境も含めた職務全体への愛情をもって日々研鑽に努める意識を高くもち続ける。そして、『教育推進プラン・江東（第3期）』『幼稚園教育において育みたい資質・能力』『こうとう学びスタンダード（就学前教育スタンダード）』を踏まえ、一人一人の心と体を豊かに育む、質の高い教育の推進を確実に果たす。 本園は、昭和44年に創立し、今年度開園57周年を迎える。これからも、こどもたちが伸び伸びと遊び生活し、どの子も伸びる教育を確かに進めていくために、57年にわたり、歴代の園長をはじめ、教職員一人一人が築き上げた第三大島幼稚園の歴史を大切にし、さらに私たちの手で成果を積み重ね、本園の充実発展を目指す。  Daisan ō jima kindergarten Children's future & Children first <第三大島幼稚園教育理念> こどもの未来のために こども第一主義で進める 第三大島幼稚園の教育

Ⅲ 経営目標

重点領域 1		主体的な幼児の育成
中期経営目標	主体的に環境に関わり、自分で考え、判断し行動する幼児を育成する。	
短期経営目標	教師との信頼関係を基盤に、幼児が主体的に人、物、事柄に関わっていけるような学級や園全体の人的・物的環境づくりに努める。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	幼児が主体的に生活を進める気持ちをもてるように、学年会や期案検討会、期毎の反省等で援助や教育環境の在り方について評価・改善を行う。	保護者アンケートの「お子さんは、自分のことは自分でやろうとするなど、主体的に生活を進めようとしている」の肯定的評価が 100%になる。
2	友達や教師などの身近な人に自分からあいさつをするなどの、幼稚園での心地よい生活づくりを大切にしたい指導を全教師が実施する。 （「学び方スタンダード」の基盤となる教育の充実）	保護者アンケートの「お子さんは友達や教師などの身近な人に進んであいさつをしようとしている」の肯定的評価が 100%になる。
3	どの幼児も園生活に安心感をもち主体的に遊びを進めていくことができるように、信頼関係を築く関わり、興味や関心をもって積極的に関わりたい環境づくりを全教師が徹底する。	保護者アンケートの「お子さんは園生活に安心感をもち、伸び伸びと自分を出しながら遊びを進めている」の肯定的評価が 100%になる。

重点領域 2		健康で安全な生活の確立
中期経営目標	幼児が体を動かす喜びを十分に味わいながら、健康と安全に対する意識を向上させる教育を推進する。	
短期経営目標	幼児が基本的生活習慣や安全な生活に必要な態度を身に付けるとともに、遊びや生活の中で多様な体の動きを経験し、体を動かす楽しさを味わうことができる教育を推進する。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	睡眠、食事、着替え、片付けなどの基本的生活習慣に関する家庭への発信を年 4 回以上行う	保護者アンケートの「お子さんの早寝早起き朝ごはんの習慣が身に付くように、家庭内での生活リズムを整えている」の肯定的評価が 100%になる。
2	コオーディネーショントレーニング週間を年 2 回実施する他、年間を通して計画的に運動遊びを取り入れ、幼児が多様な動きを経験したり、友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しんだりできるようにする。 （「体力スタンダード」の基盤となる教育の充実）	保護者アンケートの「お子さんは、コオーディネーショントレーニングなどの体を動かす活動を通して、4 月より喜んで体を動かしたり様々な動きができるようになったりした」の肯定的評価が 100%になる。
3	毎月行う安全指導・避難訓練での評価・改善を積み重ね、教職員の危機管理意識を高め、危機発生時には的確に組織的対応ができるようにする。また、幼児自身で自分の身を守る大切さを感じられる教育を実践する。	保護者アンケートの「お子さんは、交通ルールを守って道路を歩こうとしたり、災害発生時に必要となる『おかしも』『だんごむしのポーズ』などの行動について理解したりしている」の肯定的評価が 100%になる。

重点領域 3		豊かな心の育成
中期経営目標	多様なものの見方や考え方を養う教育を推進し、心豊かな幼児を育成する。	
短期経営目標	様々な人や多様な環境と関わる体験を積み重ねられるようにし、自己肯定感や思いやりの気持ちなどを育む教育を実践する。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	地域の人や未就園児など、様々な人と関わる機会を意図的につくったり、保育の中でみられるトラブルや思い通りにならない場面を捉えたりして、多様性を尊重する意識などの人と関わる力を育む教育を全教師が実践する。	保護者アンケートの「お子さんは、人への親しみなどの人と関わる力が育まれている」の肯定的評価が 100%になる。

2	教育目標「やさしい子」の育成を重点とした教育の実現に向けて、人と関わる力の育成につながる「言葉による伝え合い」を豊かに積み重ねられる体験を大切にしたい教育を全教師が行う。	保護者アンケートの「お子さんは、生活や遊びの中で、自分の思いや考えを言葉で伝えようとしている」の肯定的評価が 100%になる。
3	生活や遊びの場面でみられる幼児一人一人のよさを見逃さずに認めるなどし、どの幼児も自分の力が生かされる喜びややり遂げる満足感などを感じる教育を推進する。	保護者アンケートの「幼稚園は、様々なことをやり遂げる満足感や人の役に立つ喜びなどを感じる機会をつくり、自己肯定感を育む教育を行っている」の肯定的評価が 100%になる。

重点領域 4		保護者・地域との連携
中期経営目標	地域の幼児教育のセンター的な役割を担い、園と保護者・地域のつながりを深め、幼児をまんやかにした教育を協力して進める土壌を築く。	
短期経営目標	幼児が地域への愛着をもったり、幼児を取り巻く大人たちがつながりを深めたりできるように、保護者や地域と連携して進める取り組みの充実を図る。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	本園で大切にしている幼児期にふさわしい教育などについて、園だよりや学級だより、月 3 回以上更新するホームページ・SNS など、保護者や地域へと分かりやすく発信する。	保護者アンケートの「幼稚園は教育内容を分かりやすく発信している」の肯定的評価が 100%になる。
2	近隣幼稚園・保育園、小・中学校、ブリッジスクールとの交流を年 10 回以上実施するなど、地域との連携を推進し、関係諸機関と協力してこどもをまんやかにした教育の充実を図る。	保護者アンケートの「幼稚園は、近隣幼稚園・保育園、小・中学校等の地域との連携を図り、こどもをまんやかにした教育を地域と協力して進めている」の肯定的評価が 100%になる。
3	「地域クリーンデー」「さんだいたんけんたい」を合わせて年 17 回以上行い、幼児が地域の人や施設に関わるよさを感じるなど、地域への愛着を育む教育を推進する。	保護者アンケートの「お子さんは、地域の人や施設に関わる活動について、楽しみにしていたり楽しかったことなどを言葉で表したりしている」の肯定的評価が 100%になる。
4	「親子登園かんがる一ひろば」「ジャンプクラス」を年間 32 回実施し、未就園児保護者への子育ての支援を充実させる。また、「にこにこたいむ」を年間 11 回実施し、在園児保護者への子育ての支援の充実をめぐる。	保護者アンケートの「かんがる一ひろばやにこにこたいむに参加することは、保護者の安心感やリフレッシュなどの子育ての支援につながっている」の肯定的評価が 100%になる。

重点領域 5		保育実践力の向上
中期経営目標	全教師が、『幼稚園教育要領』『教育推進プラン・江東（第 3 期）』『こうとう学びスタンダード（ネクストステージ）』『江東区こどもの権利に関する条例』等の理解を更に深めながら質の高い幼児教育を推進する。	
短期経営目標	教師一人一人が「幼稚園教育において育みたい資質・能力」「就学前教育スタンダード」等についての理解を深め、それらを踏まえた教育活動の充実を図る。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	「幼稚園教育において育みたい資質・能力」「就学前教育スタンダード」を踏まえた週案や指導計画の作成と振り返りを全教師が行う。	保護者アンケートの「教師は、就学前教育スタンダード等を踏まえた保育を行っている」の肯定的評価が 100%になる。
2	園内研究会を月 1 回以上、研究保育を各担任年間 1 回以上行う。また、近隣幼稚園・保育園等に研究保育を公開するなどし、多様な視点から得られた学びを保育実践力の向上につなげる。	保護者アンケートの「教師は、園内研究会で学んだことを実践で生かすなど、教育活動の充実に努めている」の肯定的評価が 100%になる。